03　犬山市浅間神社・入鹿池

犬山市の入鹿池西方には，チャート，砂岩や砂岩泥岩互層，泥岩を基質とした混在岩からなるジュラ紀の付加体が分布し，花崗岩が貫入しています。

尾張富士西麓にある大宮浅間神社は石上げ祭りで有名なところです。広い斜面の下部には風化が激しく淡褐色で，破砕された花崗岩が見られます（図 3）。中粒で暗色包有物も含んでいます。角閃石黒雲母花崗閃緑岩で「安楽寺花崗岩」と名づけられています（吉田ほか,1995）。チャートと花崗岩との接触部も見られます（図 4）。尾張富士の山頂や本宮山山頂近くにはチャートが露出します。本宮山からは，接触変成のため保存は悪いですがジュラ紀の放散虫を含む珪質頁岩とコノドント・放散虫を含む層状チャートのレンズ状岩体が見つかっています。

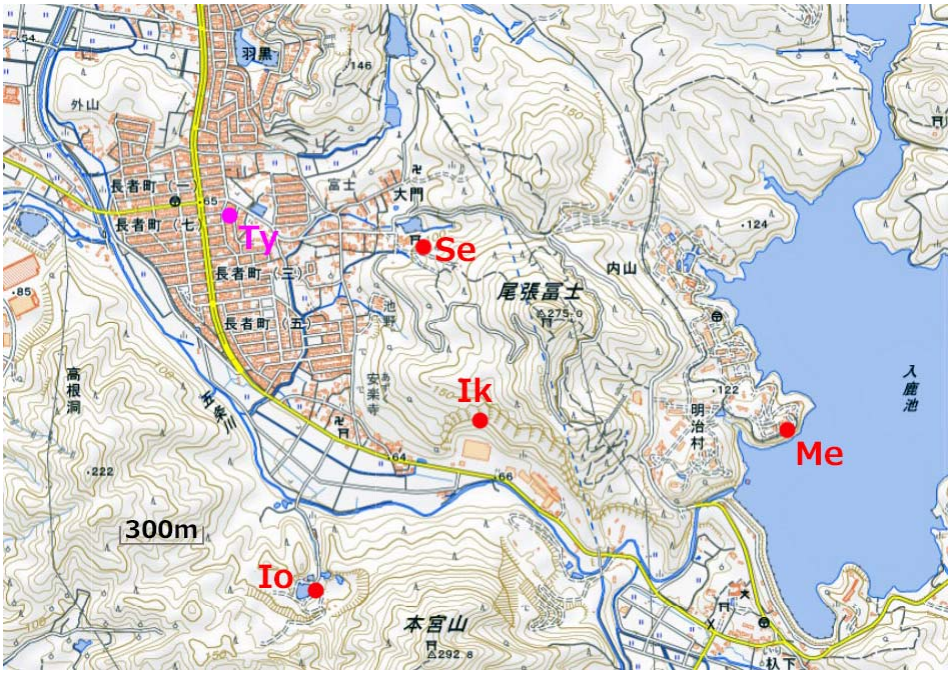


図 1　ポイント

図 2 で灰色に塗られたところは，チャート，砂岩や砂岩泥岩互層，泥岩を基質とした混在岩からなるジュラ紀の付加体です。

入鹿池のすぐ西，愛知用水を横切ったあたりの犬山市池野地区には，採石場の跡(図 1 の Io)がありました。美濃帯の岩石（チャート，砂岩，石灰岩など）に花こう岩が貫入したため，その接触部にできたスカルン鉱物と考えられています。硫砒鉄鉱，磁硫鉄鉱，黄鉄鉱，褐鉄鉱，珪灰石などを産出しました。カドミウムやフッ素汚染が考えられたため閉山となりました。このようなスカルンはあちらこちらに見られました。

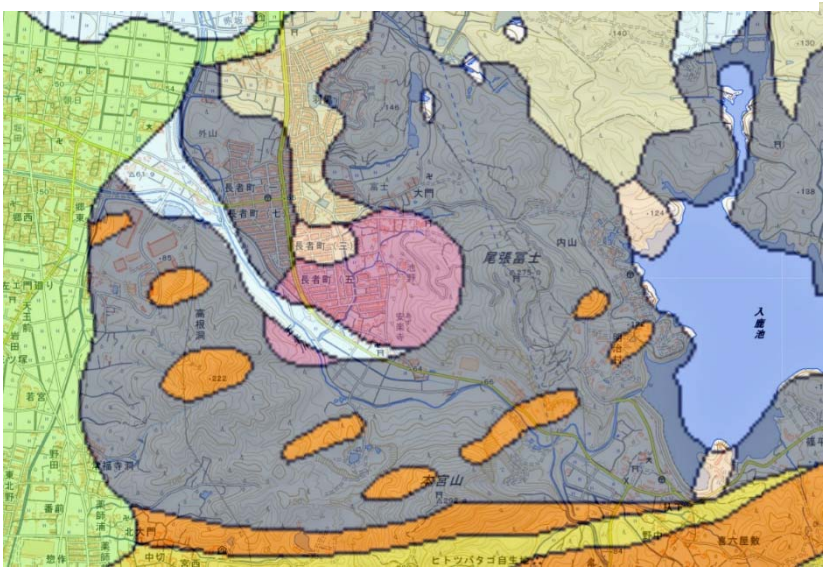


図 2　地質図（産総研地質図 Navi）

明治村村内にもあちらこちらに美濃丹波帯のチャートや砂岩泥岩互層が見られます（図 1 の Me など）。



図 3　風化した花崗岩



図 4　花崗岩に接したホルンフェルス



図 5（上）池野の砂岩泥岩の大露頭

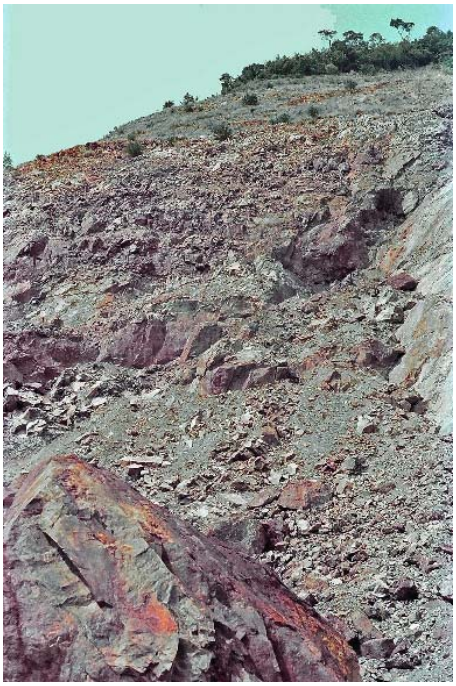


図 6（右）池野鉱山跡



図 7　明治村村内の砂岩泥岩層



図 8　明治村村内のチャート層

図 1 の Ik 地点の長者町団地内には，東海層群高針部層に相当する亜炭や植物遺体を多く含む露頭が見られました（図 5・図 6）。亜炭層のすぐ上に小さな黒色～黒褐色のこはくが含まれており，高師小僧や，鬼板も見られました。現在はこの露頭は消失しています。





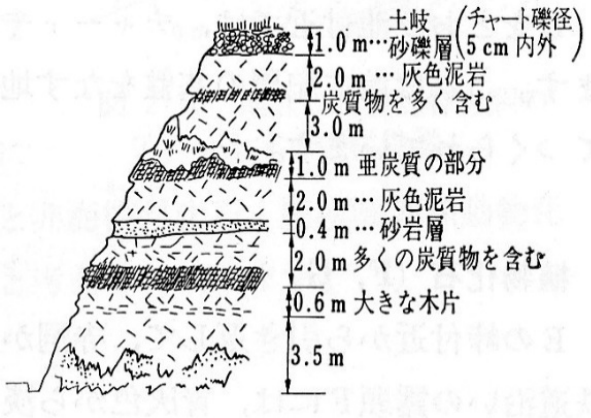


図 9　長者町団地内

左上　露頭全景

上　　亜炭質（上）と泥岩（下）

左　　露頭スケッチ（吉田，1978）

参考文献

近藤直門・足立 守，1975，犬山市北方の中生層－とくに坂祝礫岩について．地質雑，81（6），373-386.

村松憲一，2019，愛知県の地質とジオサイト．189p.

鳥居　孝，1982，犬山市史資料編　自然　地形・地質．23-56.

吉田光善，1978，日本ライン・犬山　in 愛知県地学のガイド．28-46．コロナ社.

【村松憲一】